

システム要求機能一覧

表中の用語の意味は、下記のとおり定めます。

運用管理者:道総研本部 広報担当者(3人程度)、
各研究本部、試験場が定める担当職員(5研究本部、各1~2名程度)(最大20アカウント)

公開承認者:道総研本部および各研究本部のページ公開承認担当職員(最大100アカウント)

編集者:道総研本部および各研究本部のページの作成および編集担当職員(100名)

ユーザー:システムの利用者全般(運用管理者、編集者、公開承認者)

確認項目		○:必須機能 △:可能な範囲で 実装
1 基本機能		
1	1 HTML等の知識がなくても、定型入力フォームおよび一般的なワープロソフトに近い操作性でページを作成・編集できる。	○
1	2 A4縦でページを印刷した際、ページの横が切れないようにできる。	○
1	3 ページがJIS X 8341-3:2016に準拠しているかチェックする機能を有する。	○
1	4 すべてのページ、ダウンロード可能なコンテンツのアクセス回数を、日・月・年単位で容易に把握できる。※Google Analyticsを利用できるか、または同等の機能を有する。	○
1	5 バックアップ機能により、個別、もしくはすべてのページ、コンテンツを、任意の時点の状態に復元できる。	○
1	6 ユーザーの操作を補助するヘルプ機能がある。	△
2 アカウント機能		
2	1 運用管理者用、編集者用、公開承認者用アカウントをそれぞれ作成・設定できる。	○
2	2 ユーザー(運用管理者、編集者、公開承認者)に応じてアクセス権(操作できる権限)を設定できる。また、グループ(組織)ごとに、編集できるページの範囲を設定し制御できる。	○
2	3 CSVなど外部ファイルなどによるアカウント情報(※)の一括変更ができる。 ※ID、パスワード、編集できるページの範囲およびその他必要なものを指す。	○
2	4 運用管理者が、ユーザーごとに、編集権限を持つページの範囲を設定できる。	○
2	5 運用管理者が任意のページの編集者、公開承認者を容易に把握でき、かつcsv等で一覧を出力することができる。	○
2	6 運用管理者は全ページの編集・削除ができる。	○
2	7 公開承認者が、承認依頼されたページに対して修正ができる。	○
2	8 ページ公開についての承認経路を複数設定できる。	○
2	9 公開承認者が不在であっても更新が滞らないよう、代理承認などの機能がある。	○
2	10 アカウントの認証のためのパスワードは、各ユーザーが任意に変更できる。	○
2	11 パスワードを忘れてしまったユーザーのために、運用管理者によるパスワード再設定などの手段を用意できる。	○
2	12 同一アカウントによる複数端末からの同時ログインができる。	○
2	13 他のユーザーが編集集中のページは、重複して編集できないよう編集禁止にできる。	○
3 サイト管理機能		
3	1 運用管理者はすべてのユーザーの、各編集者は自身の更新履歴(更新の内容、日付など)を閲覧できる。	○
3	2 ファイル形式に応じて、サイズの上限を設定できる。	○
3	3 運用管理者が情報カテゴリ(メニュー)の追加・修正等を容易に行える。	○
3	4 古い情報が蓄積しないよう、管理をサポートする機能がある (不要ファイルの一覧表示、リンク切れ箇所のチェック、どこからもリンクを張られていないファイルの削除、など)	○
3	5 ページ内に貼り込まれた画像ファイルを、ページファイルと一括で管理できる。	○
3	6 ページのURL変更に際し、リンクが自動追従する。	○
3	7 サイト構造を保ったまま複数ページをコピーして再利用することができる	○
3	8 災害時などに、トップページに緊急情報を速やかに掲載できる。	○
3	9 災害時などに、テキスト情報のみの負荷の少ないページに切り替えることができる。	△
4 公開機能		
4	1 各ユーザーが、作成(または編集・削除・移動)し承認されたページを、容易にWebサーバ上で公開できる。	○

4	2	任意に指定した日時に、ページの公開・更新・削除ができる。その際、いずれも将来の日時の指定ができる。	○
4	3	複数のページを一括して公開できる。	○
4	4	運用管理者は、いつでもページを公開できる。	○
4	5	ページの公開前に、プレビューによる確認や、アクセシビリティチェックができる。	○
4	6	ページの承認依頼、承認、差し戻し等の際に、ユーザーがコメントを付記することができる。	○
4	7	ユーザーが行った、更新、公開についての情報(承認結果、公開したページ、公開日時など)を、そのユーザーおよび運用管理者に、自動的にメール等の方法で通知できる。	△
5	出力するページデータ		
5	1	ページファイルは静的なHTML5で記述されることを基本とする。動的コンテンツが必要な場合はクライアントサイドスクリプトとして実装する。	○
5	2	画面幅が可変で、スマホ等からのアクセスに対してデザインを最適化したページを自動で生成して配信するレスポンシブデザインである。	○
5	3	W3Cの仕様に基づいた、正しい文書構造を持つページを生成できる。	○
5	4	文書構造(HTML)とスタイル(CSS)が分離した構成にできる。	○
5	5	新規に作成するページや内容が更新されるページは、JIS X 8341-3:2016の基準に可能な限り準拠するなど、アクセシビリティに配慮されている。	○
5	6	2023年12月時点で最新バージョンのブラウザ(Edge、Mozilla Firefox、Google Chrome、Safari等)から閲覧した際にレイアウトが崩れず表示できる。	○
5	7	UTF-8に対応できる。	○
5	8	ページデータをXML形式で出力するなど、ホームページ上の情報を、他媒体でも利用できるように拡張性がある。	○
5	9	編集者の誤操作等でページデザインが崩れない。	△
6	ページ作成・編集機能		
6	1	ブラウザでのページ表示画面をそのまま編集する機能(いわゆるWYSIWYG型)がある。	○
6	2	文章や表の作成および書式の設定、画像やリンクの挿入など、一連のウェブページ編集作業が、定型入力フォームおよび一般的なワープロソフトと同程度の操作性をもつページ編集機能のいずれでも実行できる。	○
6	3	運用管理者以外のユーザーによるCSSの編集を禁止、または制限できる。	○
6	4	運用管理者以外のユーザーによる、レイアウト枠、ヘッダー・フッターなど、全ページ共通部分の編集を禁止できる。	○
6	5	他のページ、過去に作ったページなどのコピーを元に、新たなページを作成できる。	○
6	6	ページのファイル(またはフォルダ)名を任意につけられる。その際、不適切な文字(2バイト文字など)の使用を禁止できる。	○
6	7	ページの部品(例:一覧表、キャプション付き画像など)をシステム上に複数用意し、ユーザーがページ編集画面でそれらを選択することで、容易に利用することができる。	○
6	8	画像、要素等の位置は、絶対指定(position:absolute)を使用せずに指定できる。	○
6	9	Wordファイルからコピー・ペーストの際、不要なタグを自動削除できるか、そうでなければWordファイルからのコピー・ペーストを禁止できる。	○
6	10	Excelから表をコピー・ペーストした際、表の体裁(セルの色、セルの結合など)を保持しつつ不要なタグを含まない表に自動的に変換できるか、そうでなければExcelからの表のコピー・ペーストを禁止できる。	○
6	11	HTMLソースを直後編集する機能がある。	○
6	12	編集中コンテンツの一時保存、再開ができる。	○
6	13	作成中または、作成が完了したページを、実際に公開される画面に近いプレビュー表示で確認できる。	○
6	14	任意にタイトル及びURLを設定できる。	○
6	15	ページの任意の箇所にアンカーを設置し、ページ内でのリンクを可能とする	○
6	16	バージョン管理機能(更新された古いファイルを一定期間保持できる)があり、過去の任意のバージョンに戻すことができる。	○
6	17	お知らせを作成するための、定型入力フォームなどの簡易なページ作成・配信機能がある。	○
6	18	メタタグ(keyword、descriptionなど)を編集できる。	△
7	ページのチェック機能		
7	1	ページタイトルなど、設定必須な項目を設け、それらが未記入の場合はページ公開を禁止することができる。	○
7	2	ウェブアクセシビリティをシステムで容易にチェックできる。※総務省が配布しているmiCheckerと同等以上の機能を有すること	○
7	3	ページの見出し構造の妥当性(<h1>~<h6>の順序など)のチェックができる。	○
7	4	ページのチェックをした際、そのチェック結果(修正すべき点や、どう修正すればよいのか、など)をわかりやすく表示(または自動修正)ができる。	△
8	スタイル		
8	1	スタイルを変更した場合には、そのスタイルを使用しているすべてのページに変更が反映される。	○

8	2	作成したcssファイルをテンプレートに読み込む機能を持つ。	△
9 自動生成機能			
9	1	ページ作成時に、そのページの属するカテゴリ(例:運営情報、入札、研究開発等)を設定することで、当該カテゴリのページから、そのページへのリンクを自動作成できる。	○
9	2	カテゴリの追加・削除・編集等を容易に行える。	○
9	3	ページ遷移の経路を示す、パンくずリストを自動生成できる。	○
9	4	CMS管理ページの全体構造を表わす、サイトマップを自動生成できる。また、ページの追加・削除等があった場合、サイトマップも自動更新される。	○
9	5	「お知らせ」「新着情報」など、トップページの指定欄に表示される情報から、任意のページへのリンクを容易に作成できる。また、運用管理者がその欄内を編集できる。	○
10 テンプレートの編集機能			
10	1	編集者は、用途に合わせてテンプレートを選択できる。	○
10	2	テンプレートを修正した場合、そのテンプレートを使用しているページすべてに修正が反映される。	○
10	3	運用管理者は、ユーザーごとに使用可能なテンプレートを制限できる。	○
11 画像・文書ファイル管理			
11	1	画像ファイル、文書ファイル(PDFなど)を容易にページの任意の位置に挿入できる。この際、ローカルまたはサーバー内ディレクトリの中から該当するファイルを選択できる。	○
11	2	全ユーザーが共通に利用できる、ファイル置き場となるフォルダを設けることができ、一覧表示できる。この際、画像はサムネイル表示ができる。	○
11	3	画像ファイルには、代替テキスト(alt属性)の設定を必須とし、必要な場合は空の代替文字(alt="")を設定できる。	○
11	4	画像のサイズを任意に変更できる。	○
11	5	画像にalt属性が設定されていない場合、その旨の警告を表示するなど、設定もれを防ぐ仕組みがある。	○
11	6	画像の編集(サイズ指定やトリミングなど)ができる。	△
12 リンク			
12	1	CMS内のページについてリンク切れを防ぐしくみがある。(リンク先ページのURL変更時にリンクを自動修正する、など)	○
12	2	CMS外のページについてリンク切れを通知するしくみがある。	○
12	3	どこからもリンクされていないファイルが発生した場合、そのファイルを検知し、削除、またはその旨を通知する機能がある。	△
13 検索機能			
13	1	支配下ページの全文検索ができる。	○
14 メールフォーム機能			
14	1	メールフォームを設置できる。	○
14	2	メールフォームにより送信される情報は、暗号化等により適切に保護される。	○
14	3	メールフォームによる送信前に、入力内容を確認する画面を表示できる。	○
15 アンケートフォーム機能			
15	1	アンケートフォームを、専門知識がなくても容易に設置できる。また同時に設置できるフォーム数に上限が無い。	○
15	2	アンケートフォームの入力項目等は、容易に設定できる。また同時に設定できる項目数に上限が無い。	○
15	3	アンケートフォームにより送信される情報は、暗号化等により適切に保護される。	○
15	4	アンケートフォームによる送信前に、入力内容を確認する画面を表示できる。	○
16 その他追加機能			
16	1	閲覧者の個人情報や、それに類するデータを収集するページが含まれる場合、閲覧者に同意を促すポップアップを表示できる。	○
17 将来的な費用負担			
17	1	将来的に、総ユーザー数や承認経路の増加などの要因により、ライセンス料等が増加しない。	○